

# 「新型コロナウイルス感染症拡大に伴う 学校指導への影響に関するアンケート」 結果レポート

ベネッセ教育情報センター  
ベネッセ教育総合研究所 VIEW21編集部

---

**【調査テーマ】**

新型コロナウイルスの感染拡大を受けて実施された臨時休業下での高校現場の状況と、臨時休業明けの見通し

**【調査方法】**

インターネット調査（※）

※ ベネッセハイスクールオンライン（BHSO）が発信するメルマガにウェブアンケートのURLを記載。また、BHSOのトップページにもウェブアンケートのバナーを表示。

**【調査時期】**

2020年4月20日（月）～5月1日（金）

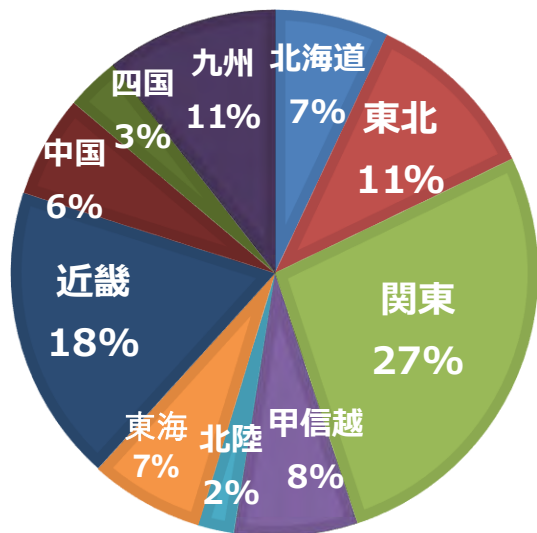
**【調査対象・回答数】**

高校教師・543人

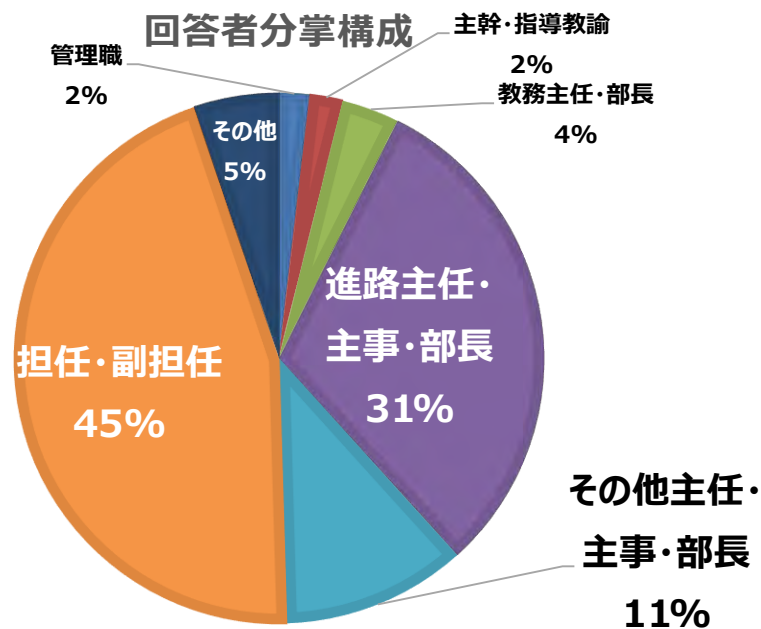
**【調査項目】**

臨時休業状況 / 教師の勤務状況 / 臨時休業期間中の各種対応状況 / 臨時休業期間中のオンラインツールの活用内容 / 臨時休業期間中の生徒や保護者とのコミュニケーションにおいて上がった声 / 臨時休業明けに最も対応が必要になると思われる課題 / 臨時休業明けの各種対応の検討状況 / 臨時休業明けの生徒とのコミュニケーションにおいて考えている工夫点や面談内容 / 臨時休業明けに行う進路指導上の懸念点

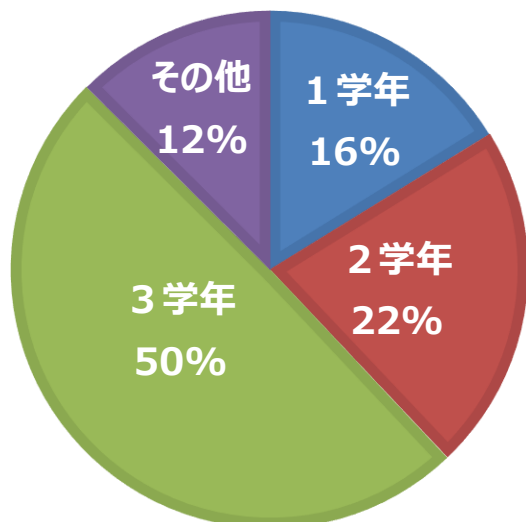
回答者エリア構成



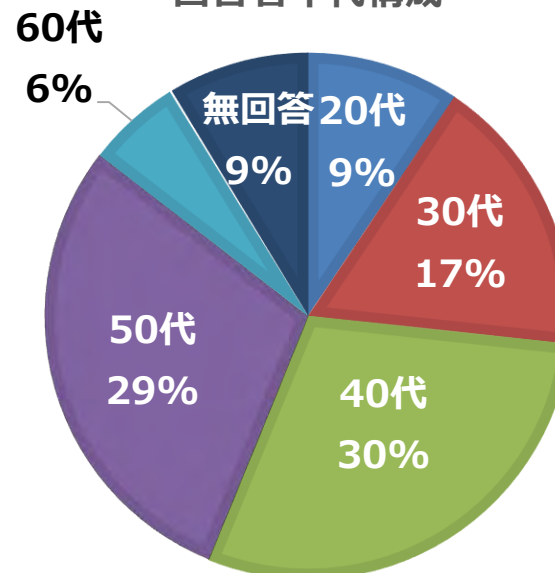
回答者分掌構成



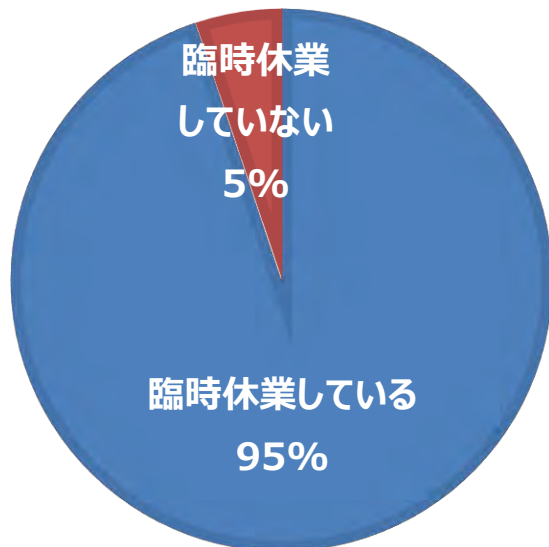
回答者担当学年構成



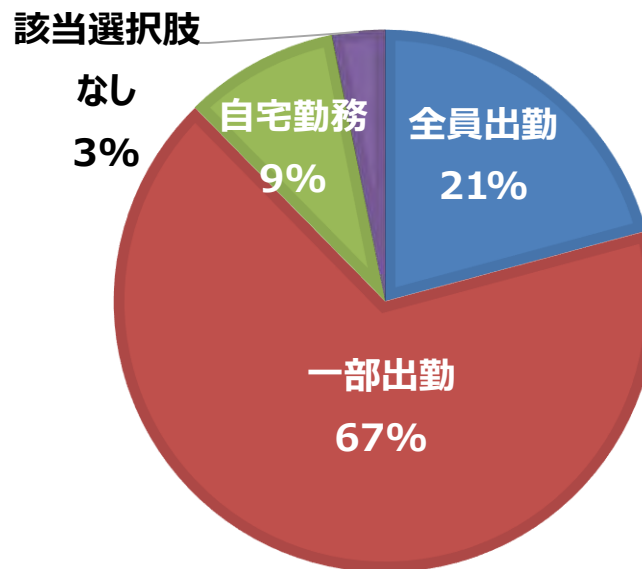
回答者年代構成



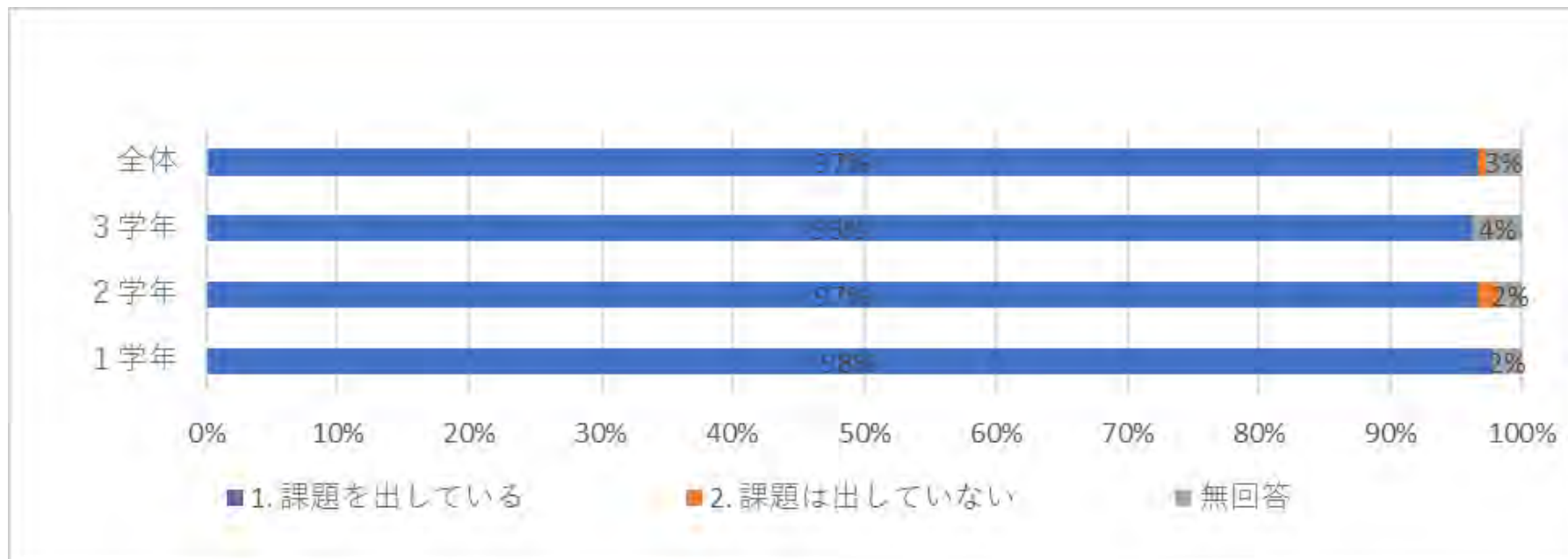
## 臨時休業状況（4月20日時点）



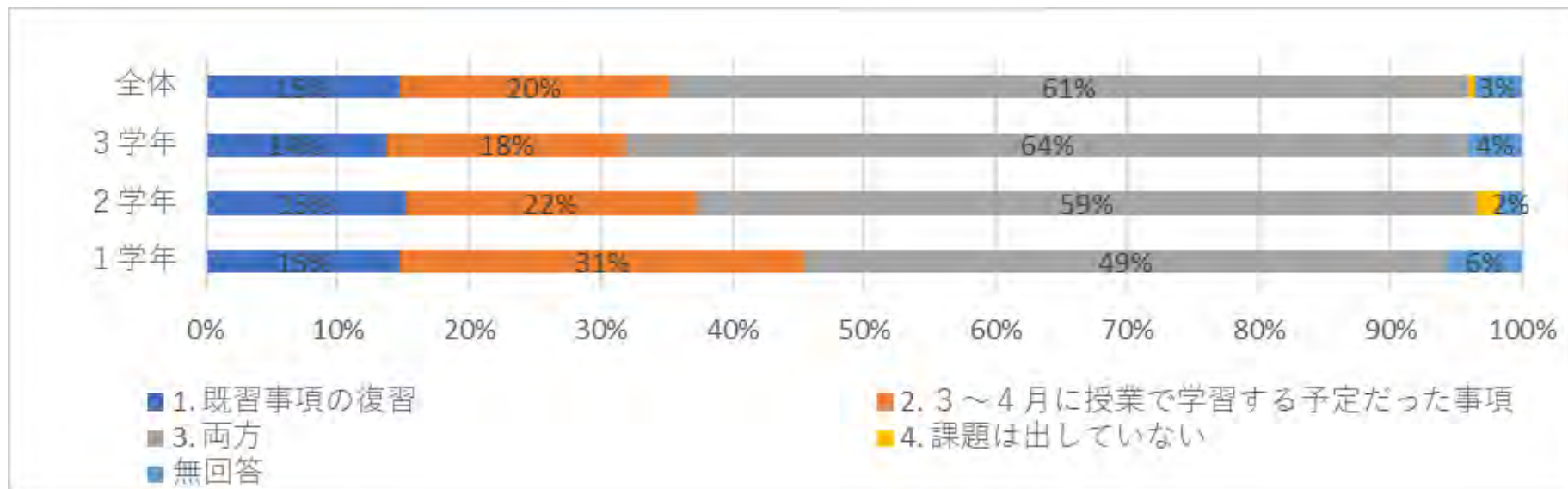
## 教師の出勤状況（4月20日時点）



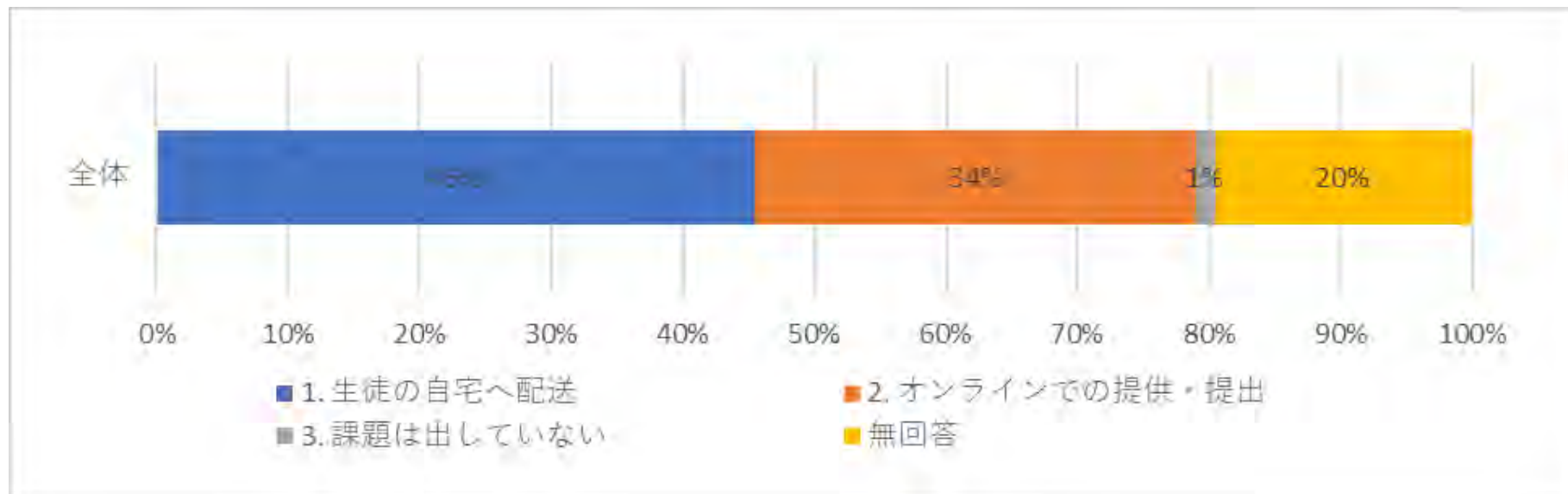
どの学年も96%以上が「課題を出している」。



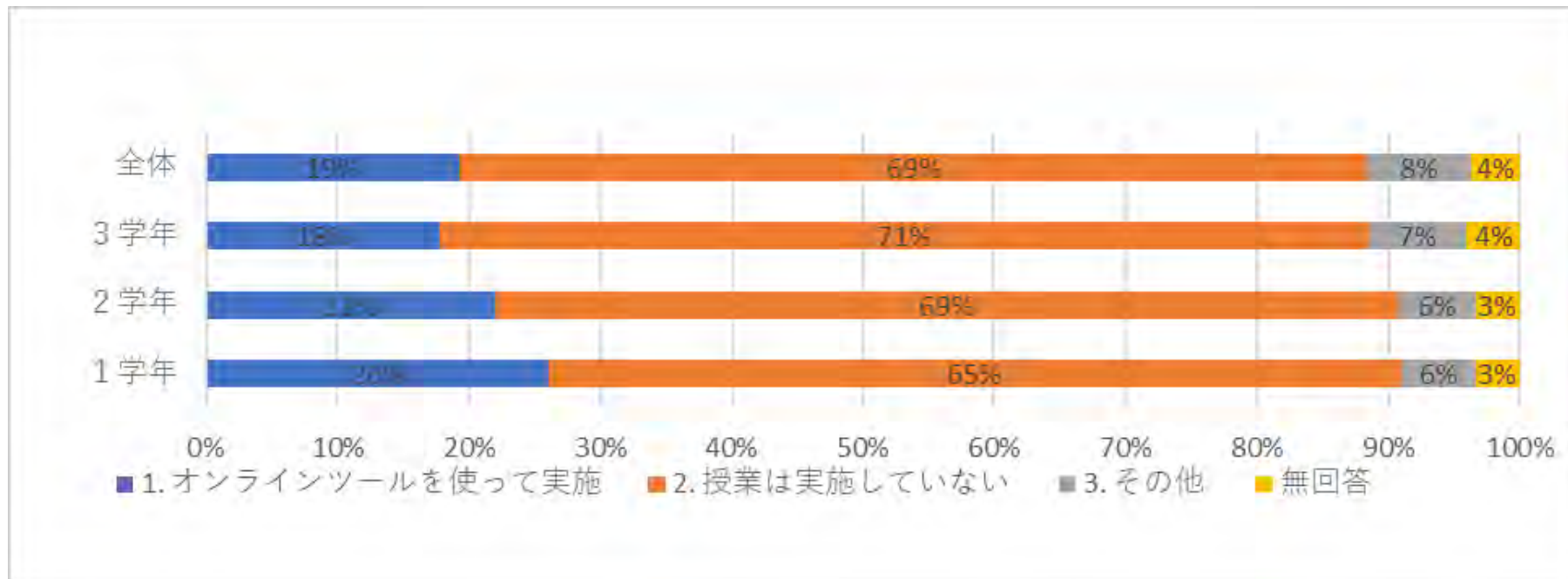
どの学年も、最も多いのは「両方」（「既習事項の復習」と「3～4月に授業で学習する予定だった事項」）である。また、どの学年でも「既習事項の復習」よりも「3～4月に授業で学習する予定だった事項」を課題としている割合が多い。



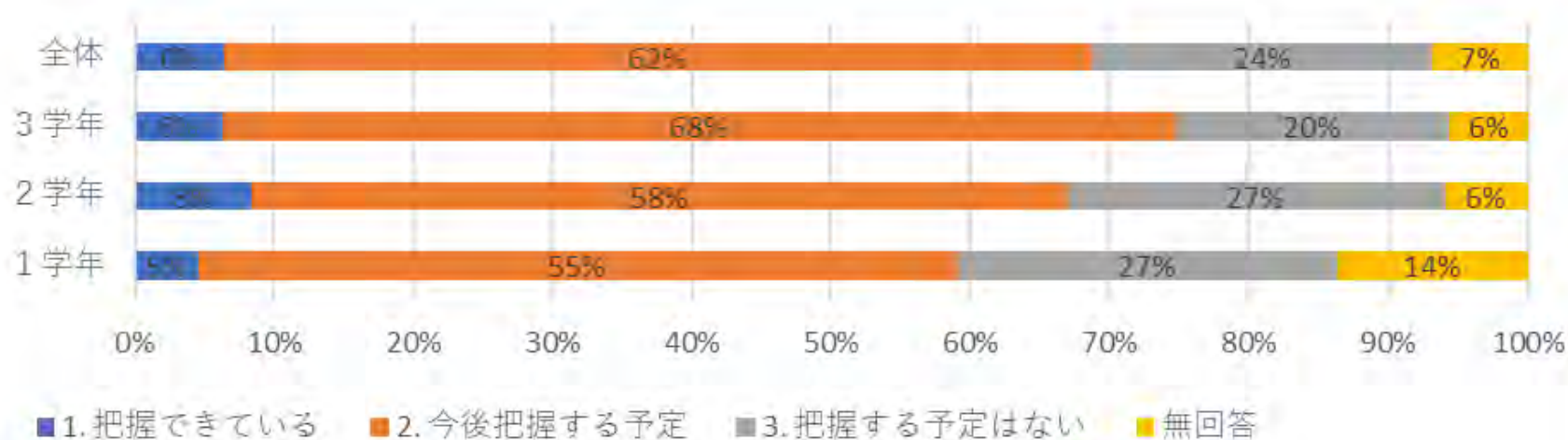
「配送」が最も多く、45%。次いで「オンライン」が34%。



「授業を実施していない」は、どの学年も65%以上で、オンラインツールを使っての授業の実施は20%前後。

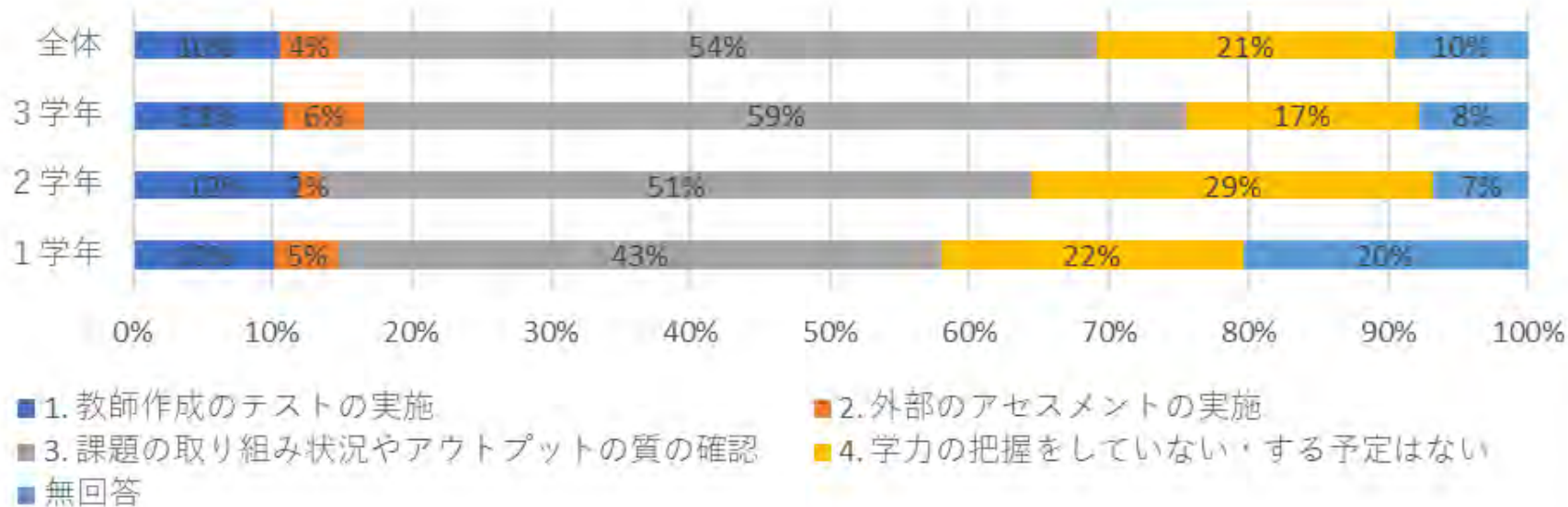


「把握できている」はどの学年も10%以下で、過半数が「今後把握する予定」。



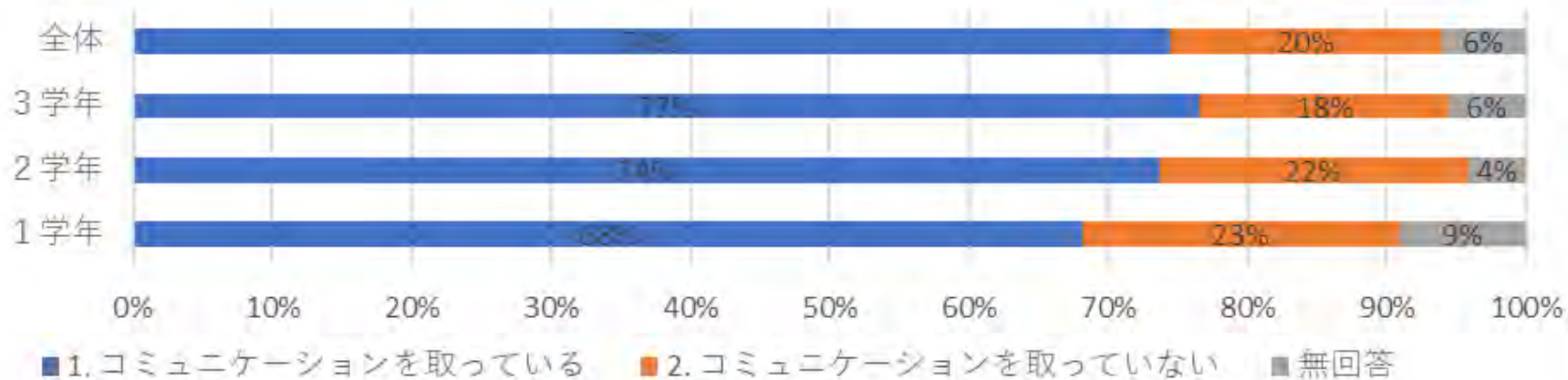
## 9 臨時休業中の学力把握の方法

どの学年も「課題の取り組み状況やアウトプットの質の確認」での学力把握が多く、テスト・アセスメントの実施は20%を切る。



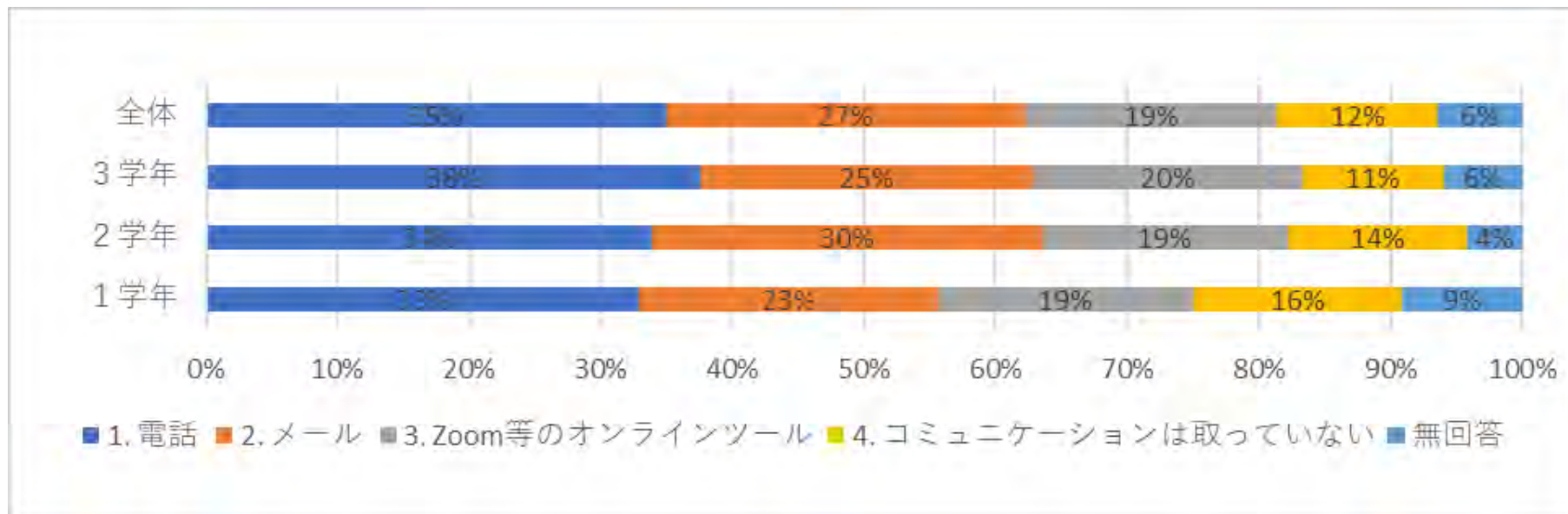
## 10 生徒や保護者とのコミュニケーションの有無

全体の約75%はコミュニケーションが取れている。学年別では、新高1はややコミュニケーション頻度が低い。

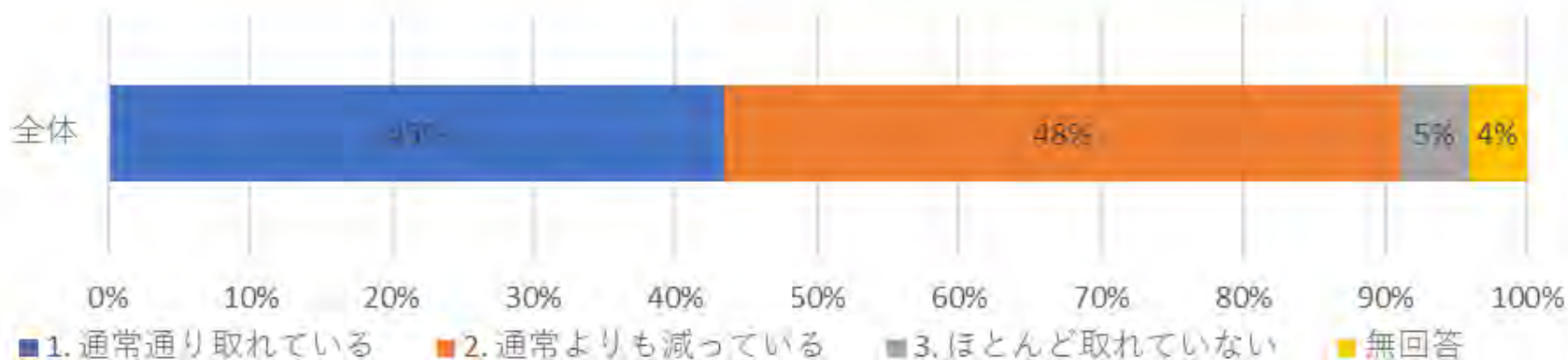


# 11 生徒や保護者とのコミュニケーション手段

全体のコミュニケーション手段は、電話>メール>オンラインツール。  
他学年と比較して、高3は電話の割合がやや高く、高2はメールの割合がやや高い。

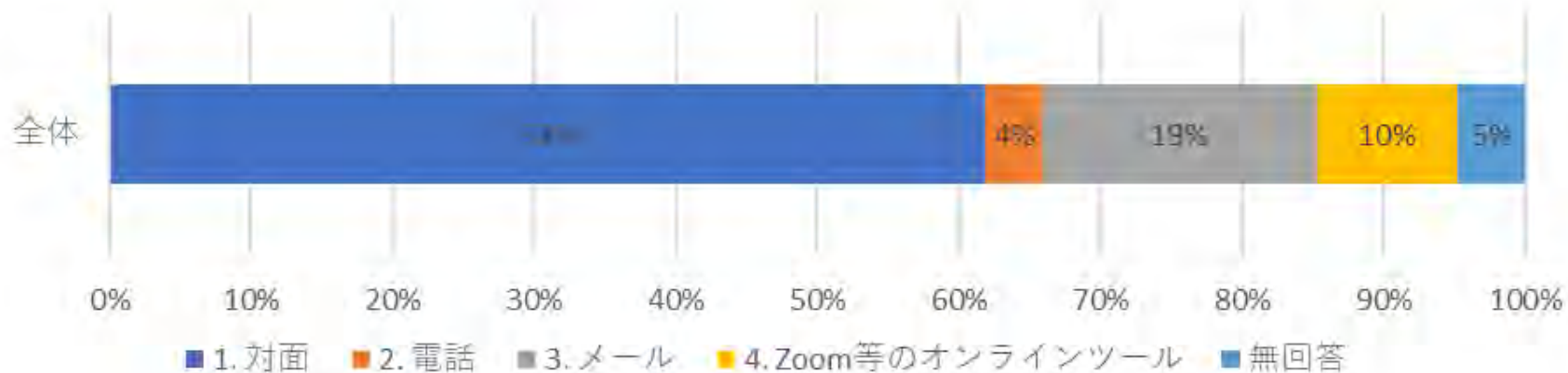


先生同士のコミュニケーションは、「通常よりも減っている」48%>「通常通り」43%と、減っている割合がわずかに多い。ほとんどコミュニケーションが取れていないのは5%にすぎない。

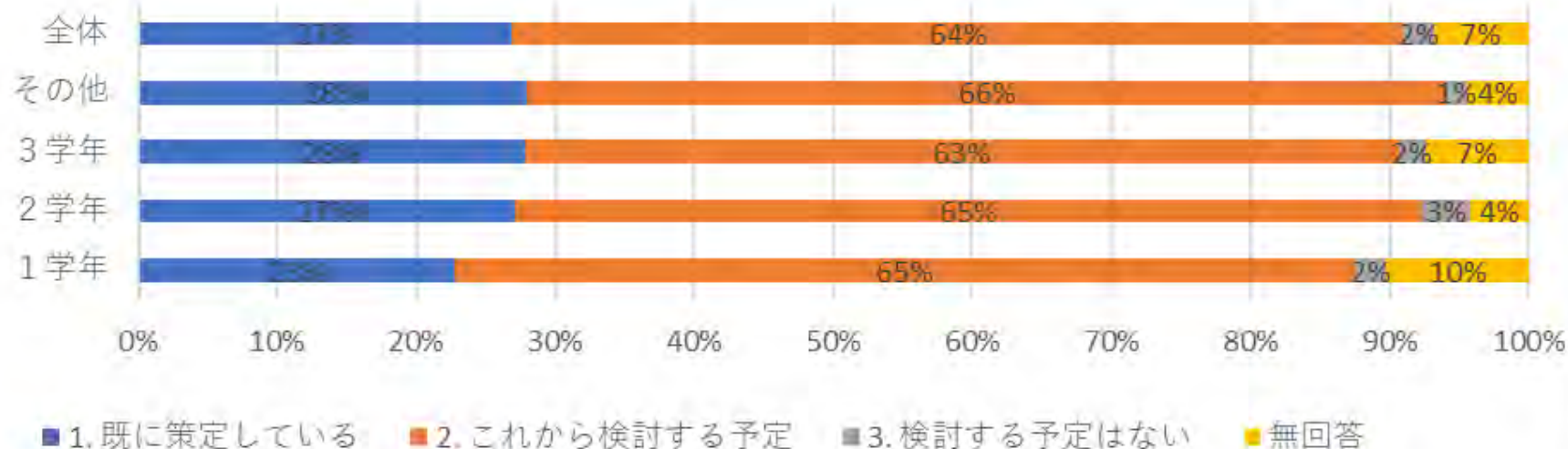


## 13 先生同士のコミュニケーション手段

先生同士のコミュニケーション手段は、60%が対面。次いでメール> オンラインツールの順。電話は多くない。



臨時休業明けに向けた指導方針・計画は、全体の約65%がこれから検討する予定で、既に策定済みなのは30%弱。学年別に見ると、高1の策定度合いが低い。



内容	対面と比べてよかった点	実施上の課題
健康に関する質問	集計が楽。データベース化できる。	
学習時間などの調査	記録に残り、検索もしやすい。提出状況がデータベース化できる。	
連絡事項伝達	記録に残り、紛失しない。見た、見ていないの確認が容易。	どうしても一方通行の発信になり、対話的なコミュニケーションは難しい。正しく伝わっているかが不安。
課題提出	生徒個々の状況に沿った対応がしやすい。	生徒のICTスキル、環境に差がある。
SHR	対面に比べよい点はない。	生徒の反応がつかみづらい。生活が不規則になっている生徒もいて、そのような生徒は参加してこない。
授業	対面に比べよい点はない。	生徒の反応がつかみづらい。理解度に合わせ内容や話し方を変えるという従来の授業で行っている手法がとりづらい。
動画配信	同じ内容の授業を複数のクラスで行う必要がないため、授業準備などに多くの時間を費やすことができている。反転授業の試みとなっている点には手応えを感じる。生徒は繰り返し見ることができたり、視聴スピードを調節することができたりする。	準備時間は増やすことができるが、新しくコンテンツを作るのは手間。生徒の反応がつかめない。生徒にも教師にもICTスキルには差がある。通信量にも課題あり。配信動画の外部流出が気になる（セキュリティー対策は限定公開のみ）。配信だけでは理解度の把握ができない。
面談	生徒は質問がしやすいようだ。資料などは提示しやすく、対面と比べてそんな色ない。家庭とも距離が近くなったように感じる。	各家庭の通信環境の差。生徒側から返信がなく、日程調整に手間がかかる。
全般		ツールが乱立している。どれを使えばよいか、浸透していない。

生徒

3年担任からの回答が多く、否定的・不安への言及が多数

## ×否定的／不安

学力や部活動の大会実施に対する不安、友人と会えないストレス。（1年）

入学式も実施できなかったため、学校生活全般に対する不安、授業が実施されないことに対する不安、オンラインツールの利用方法が分からないことへの不安等。（1年）

クラスの半分の生徒は暇だし早く臨時休業が明けてほしいと言っている一方で、残りの半分の生徒はのんびりできて臨時休業が明けてほしくないと言っている。（2年）

授業の進度に対する不安。一方で自学自習の習慣がついたという声も。みんなと一緒に学習したいという声も多い。特に3年生は、入試に間に合うのかという心配の声も多い。（3年）

課題で分からないところを質問できないのがつらいとのこと。普段なら友人に気兼ねなく話をしながら学習もやる気になれるのに、刺激がなく気持ちが乗らないとも。（3年）

まだ習ってない理科や地歴公民が不安である、受験に間に合うか心配、部活の大会はどうなるか等の声を聞いている。（3年）

早く学校に行きたい。英語等の検定試験は実施されるのか。自分がコロナウイルスにり患しているのではないかという疑心暗鬼。大学のオープンキャンパスに行きたいが行けないので進路選択に困っているなどの声があがっている（3年）

## ○肯定的／満足

オンラインツールを利用したことで久しぶりに顔を見ることができたという喜びの声が上がっていた。（2年）

自分のタイミングで課題に取り組める点について、おおむね評価が高いようである。（2年）

## 保護者

3 学年通して、否定的・不安の声が多い

### ×否定的／不安

到達すべき段階まで学習が進んでいるか不安である。学習は自宅で行えるが、学校で身につけるべき社会性や協調性等について、今後の生活の中でうまく獲得できるか不安である。（1年）

生徒の登校日および課題提出日を設けて、分散登校・短い在校時間で対応したが、他学年の保護者から、「このような状況下で登校させるのは非常識だ」という批判を受けた。（1年）

学校行事の精選によって、何ができなくなるのか。進級に向けたイメージが持てない。今後の見通しが立たない。（2年）

通信料が心配。学習の定着度合いが分からない。受験が心配。特別措置はあるのか、受験時期はどうなるのか等。（3年）

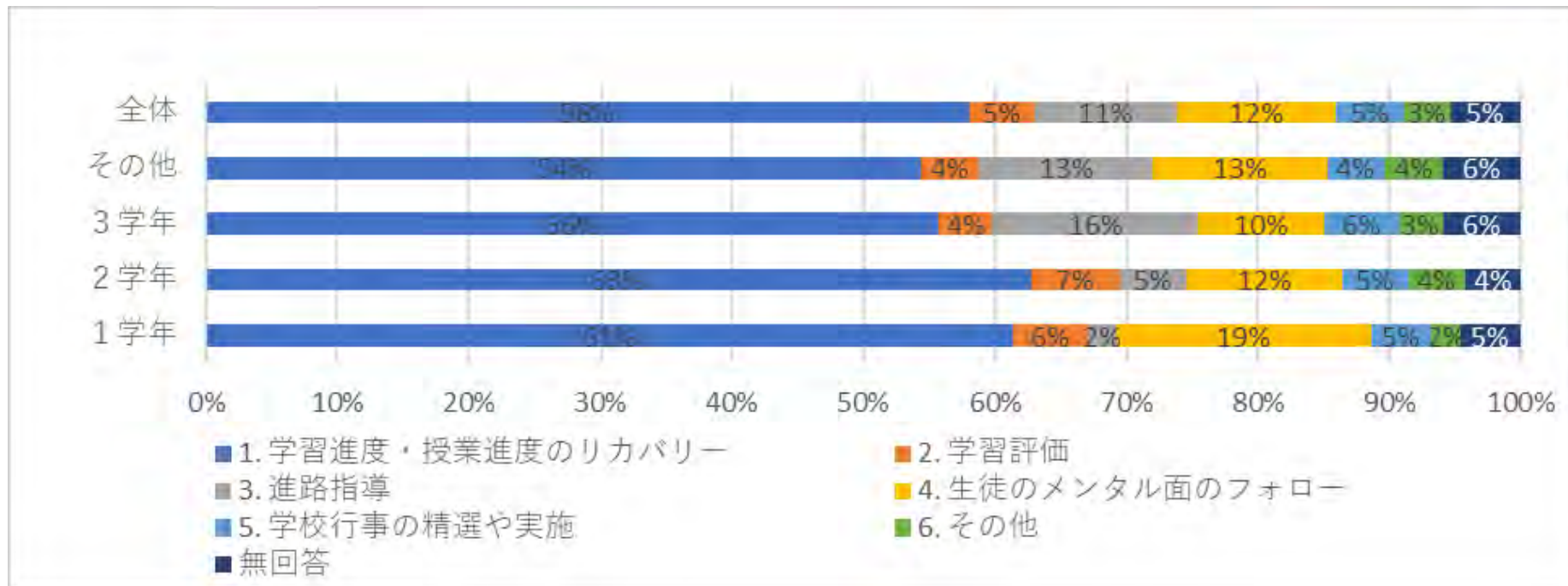
クラス担任により、連絡等の温度差が大きいことへの不満。子供が全く勉強せずゲーム三昧で何とかしてほしい。ストレスのはけ口を担任に伝える例もある。（学年なし）

### ○肯定的／満足

学校の取り組みに肯定的な保護者が圧倒的に多い（1年）

メッセージのやりとりはメールと電話を併用しているが、特に電話は直接先生の声を生徒が聞いたので安心した等の声が保護者からあった。メールは、情報が記録に残るので助かるとの声もあった。（3年）

臨時休業明けに対応が最も必要な課題は、全体・学年別ともに「学習・授業進度遅れのリカバー」で半数以上。特に高1・高2でその課題感が強い。次いで、「メンタルフォロー」と「進路指導」が全体で10%強だが、高3では「進路指導」が16%とやや高く、高1では「メンタルフォロー」が19%と他学年よりも高いことが分かる。



**【選択肢 1～5 すべての対応が必要】11名**

- 生徒、保護者それぞれが持つ不安に対して、きちんと聞き取り、それに誠実に答えていかなくてはならないと思います。臨時休業が明けるかどうか分からないので、どのように対応していくか、どのようにメッセージを発していいのか、教員間の議論も大切だと考えます。
- 特に3年生にかかわる生徒・保護者・教員のすべてが、大学入試について大きな不安を抱えていると思う。
- 特に、3年生の精神的ダメージが大きい。

**【生徒の健康・安全面】**

- すべてが必要ですが、強いて言えば安全面の確保あつてのことと考えます。
- 感染症予防。

**【授業等、教育活動の実施方法】**

- クラス単位の授業の実施方法を検討すべきである。1クラス40名という授業をそのままHRで実施することは難しい状況であるため。
- 3密がそろっている教室にて、生徒並びに教員が問題なく授業ができるか。学校運営のあり方をどうするかという根本が揺らいでいる。

**【学習習慣・生活習慣の立て直し】**

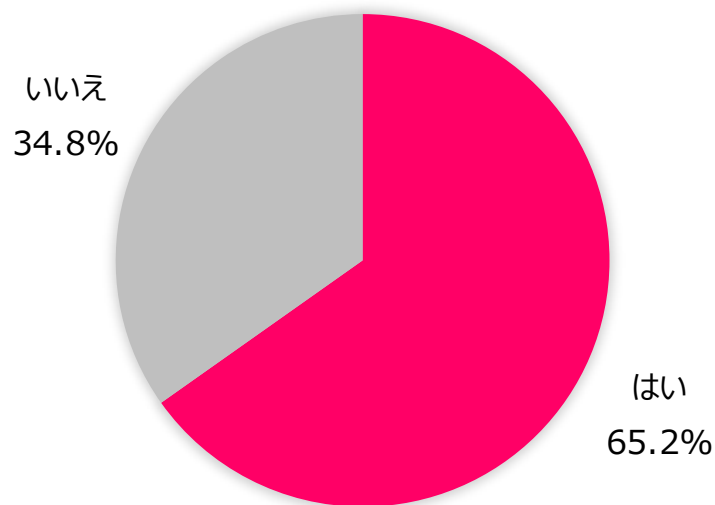
- 学校生活への切り替え。
- 生活習慣、学習力の立て直し（3月の臨時休業ですっかり乱れており、4月の1週間で少し戻りつつあったところでまた臨時休業になったので）。
- 規則正しい生活習慣の確保、学生らしい生活規範をどう取り戻すか（生活指導）。

### 【1年生のケア】

- まずは、新入生のオリエンテーションや部活動紹介などの、入学当初の必須行事。
- 1年生は、入学に関する説明で30分程度しか登校していない。生徒の状況把握のための面談等に時間がかかると思う。また、生徒同士の間関係づくりのためのオリエンテーションなども十分に確保できないだろう。臨時休業が長期にわたるため、授業時数の確保を優先せざるをえない。新入生がスムーズに高校生活をスタートできるかどうか、例年以上に配慮しなくてはならないと考えている。

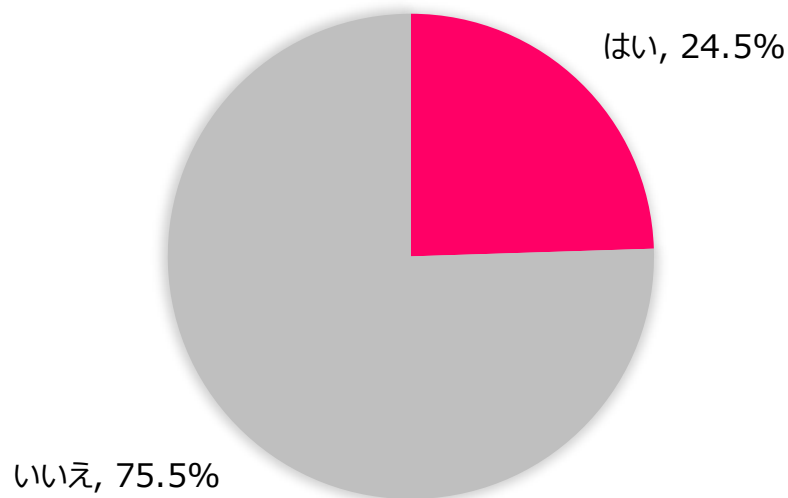
- ・「夏季休暇短縮」を決定or検討している学校は約65.2%
- ・「夏季休暇短縮の検討期間」としては、2週間程度で検討している学校が最も多い。

### 夏休みの短縮を決定・検討している



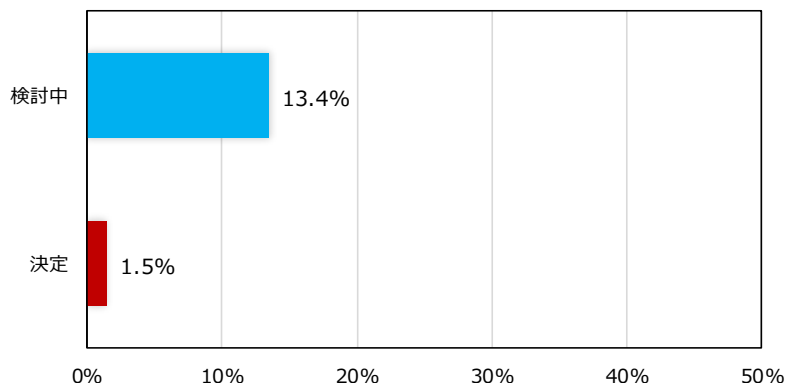
- ・「土日授業の追加」を決定or検討している学校は約24.5%
- ・頻度については検討中の学校が多い

### 土日授業の追加を決定・検討している

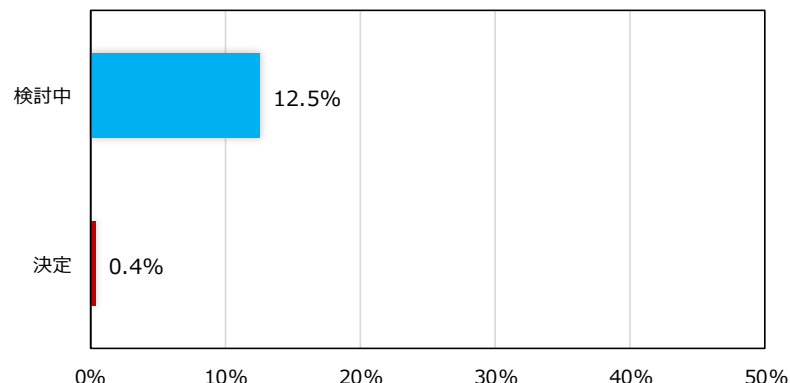


- ・「1日の授業時数を増やす」「夏休みにオンライン配信授業を実施」を決定or検討中の学校はともに15%弱
- ・「平日補習の実施、拡充」を決定or検討中の学校は約25.7%

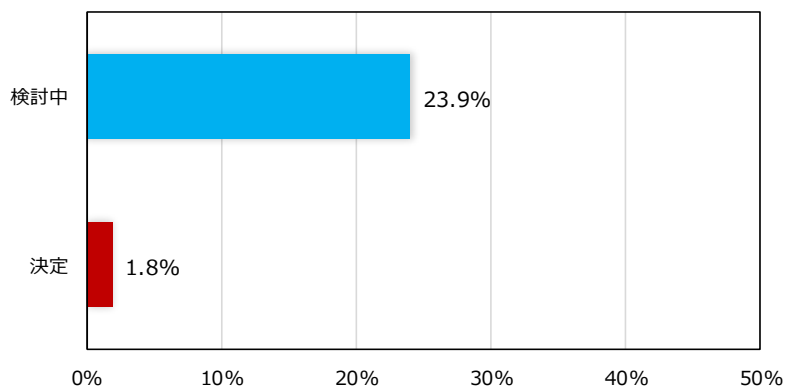
1日の授業時数を増やす



夏休みにオンライン配信授業を実施

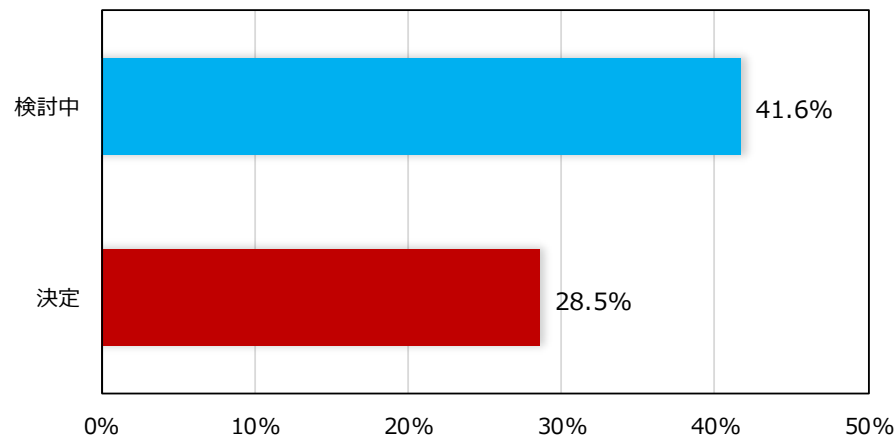


平日補習の実施、拡充

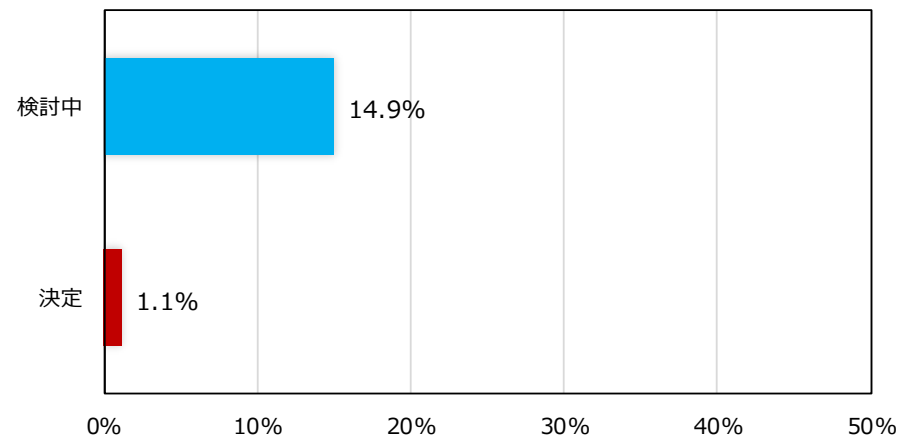


- ・「学校行事の削減」を決定or検討中の学校は約70.1%
- ・「文理選択・コース選択の時期を遅らせる」ことを決定or検討中の学校は約16%

学校行事の削減

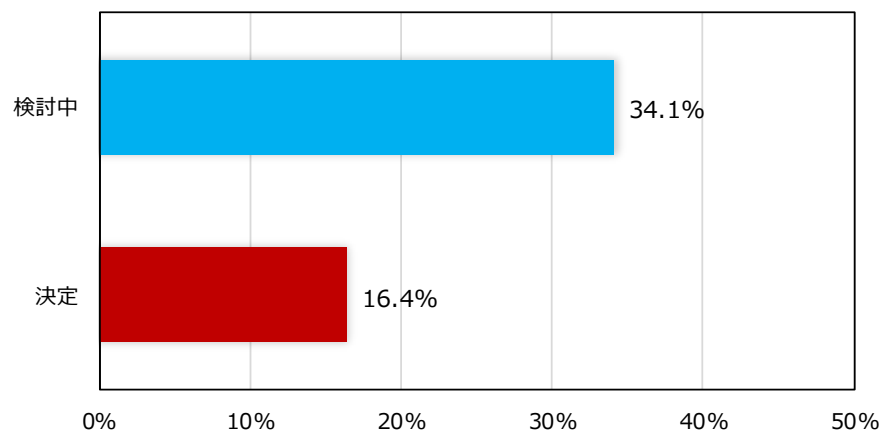
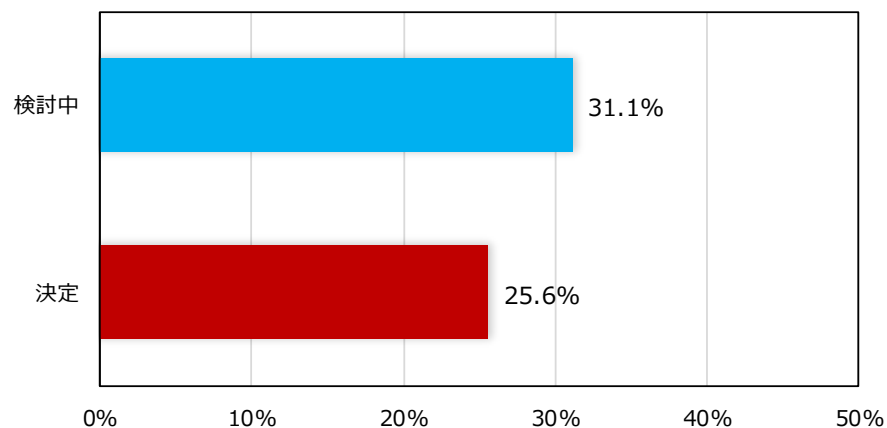


文理選択・コース選択の時期を遅らせる



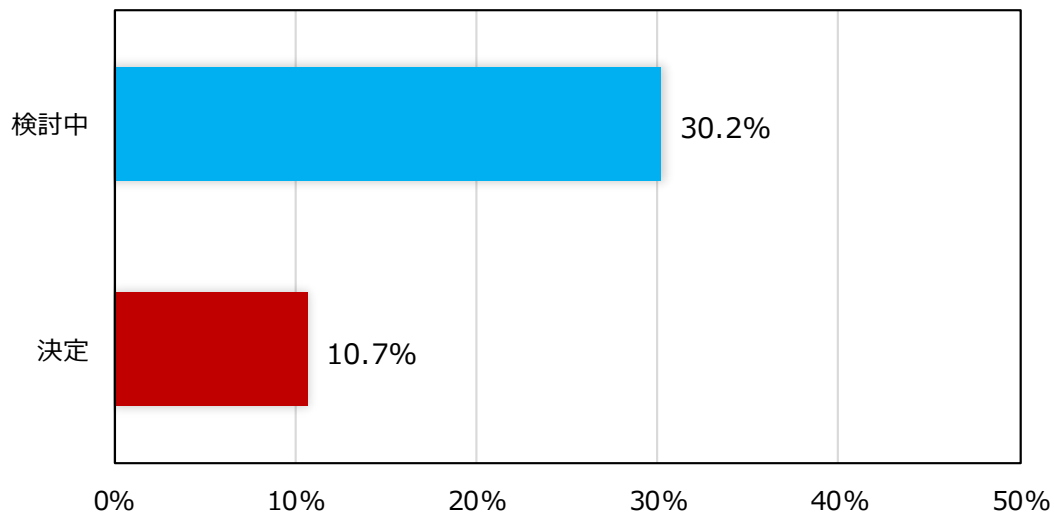
- 半数以上の学校で「定期テストの時期を遅らせる」「定期テストを部分的に廃止する」ことを決定or検討している
- 「定期テストを部分的に廃止する」ことを決定している学校は約25.6%
- 「定期テストの時期を遅らせる」「定期テストを部分的に廃止する」ことを決定or検討中の学校の半数以上が2項目を同時に検討している


定期テストの実施時期を遅らせる

定期テストを部分的に廃止する  
(中間考査をやめ、期末考査だけにするなど)

- ・「家庭内での学習を評価に組み込む」ことを決定or検討中の学校は約40.9%
- ・「定期考査の部分的廃止」を決定or検討中の学校においては、家庭内での学習を評価に組み込む（決定or検討中）の割合が約56.8%と高くなる傾向にある

### 家庭内での学習を評価に組み込む



指導（課題・授業）		学習評価
やりやすい  先生の 負担大	教科書・副教材の問題をノートに取り組ませる	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ノートの内容で評価</li> <li>・学習記録で振り返りをさせ、ポートフォリオ評価</li> <li>・小テストを実施し、生徒の理解度を把握。次の学びにつなげる</li> <li>・【臨時休業中】先生作成のペーパーテストをオンラインで実施</li> <li>・【臨時休業明け】先生作成のペーパーテストを学校で実施</li> </ul>
	先生オリジナルの課題を作成し、ノートに取り組ませる	
	レポートを作成させる （例：教科での探究的な問い、総合的な探究の時間の探究課題のブラッシュアップなど）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルーブリックを活用した評価</li> </ul>
	生徒に動画で発表・プレゼンをさせる （例：3分間プレゼン、英語のスピーキング、体育・芸術など）	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ルーブリックを活用した評価</li> <li>・パフォーマンステストで評価（英語など）</li> </ul>
	授業の動画を配信する	<ul style="list-style-type: none"> <li>・視聴の有無（履歴）で評価</li> <li>・視聴してノートに取り組ませ、ノートの内容で評価</li> <li>・小テストを実施し、生徒の理解度を把握。次の学びにつなげる</li> <li>・【臨時休業中】先生作成のペーパーテストをオンラインで実施</li> <li>・【臨時休業明け】先生作成のペーパーテストを学校で実施</li> </ul>
オンライン・ライブ配信で授業を実施する		

## 久しぶりに登校してくる生徒に対してコミュニケーションを取る際の工夫や面談内容の変化についてお考えのことがありましたら、教えてください

まずは生徒の状況把握を丁寧にしつつ、学習・進路の情報提供をしていくという先生方からの声が多かった

### 【各学年の先生方の声】

#### 1 学年

入学式を行った後、臨時休業になり、マスクをしていたこともあって、お互いどのような顔をしていたか分からない。広い教室での面談などを通じてコミュニケーションをとり、スムーズな1年生のスタートを切らせたいと考えている

#### 2 学年

学習面、体調及び精神面のケア、クラブ活動の実施方法などを考えてコミュニケーションをとっていきたい  
いつ臨時休業になっても生徒が自ら課題を見つけ、取り組むことが出来るようにしていく

#### 3 学年

進路指導通信を発行し、進路情報の提供に遅れが生じないように配慮する  
検討していた受験方式を変える生徒も出てくると考えられるため気持ちの変化を丁寧に聞き取る

### 【分掌ごとの先生方の声】

心身の健康状態を確認することを優先。  
家庭の状況把握に努め、保護者の仕事や家庭環境に変化がなかったかを把握する



管理職先生

登校してきた時に、「学習」「進路」「家での生活」などについてアンケートを取り、生徒のニーズを正確につかんだうえで学年・クラスの取り組みをサポートする

教務・進路主任先生



一人ひとりと話をする時間を長くするように心がけたり、笑顔で和やかな感じで話をするように工夫をする／表情や言葉を普段以上に注意してみる



クラス担任先生

## 進路指導を行う上での懸念点を教えてください

1・2年生では、生徒が希望進路について検討するための情報と機会、3年生では入試や就職試験において試験内容や実施時期変更の可能性がある中で、今まで通りの指導では対応できないことを懸念する声が多かった

### 【各学年の先生方の声】

1学年	文理選択についてコミュニケーションが不足しており、判断材料が不足してしまっている オープンキャンパスが実施されない場合にどのように上級学校を研究させるか
2学年	夏休みのオープンキャンパスや職業体験などの進路選択の場が減少することで生徒が進路について考える機会が減る 進路指導に必要な説明会が実施できない 経済状況の変化により進学困難となる生徒への対応
3学年	進路希望の把握が十分にできていない 大学入試や就職試験の時期や形式がどうなるのかが不透明で指導ができない 学校推薦型選抜・総合型選抜希望の生徒は、部活動や英語外部試験の機会が失われ、予定していた出願プランの再検討が必要

### 【分掌ごとの先生方の声】

教育課程を完遂できるか不透明な中、入試を実施できるのか／部活動にも集中しきれず中途半端になり、高校生活をきちんと終わられるのか不安



管理職先生

オープンキャンパスや体験授業などに全く行けていないので、具体的な進路のイメージができていない／情報が不足している／指導の見通しが立たない

進路主任先生



面談がほとんどできていないので、生徒の進路の決定や準備が遅れてしまうのではないかと／模擬試験もままならず、学力把握も容易ではない



クラス担任先生

### 【臨時休業期間中の対応について】

- 臨時休業期間中、ほぼすべての学校が生徒に課題を出し、その内容は既習事項の復習にとどまらず、80%の学校が、3～4月で学習する予定の内容の課題を出していた。
- 一方で、70%の学校が授業を実施できておらず、オンラインツールを利用した授業を実施した学校は全体の20%だった。
- 以上から、多くの学校が授業ではなく、課題を通じて、予定していた学習進度を達成しようとしていることがうかがえる。
- この2か月間における生徒の学力を把握できている学校は10%にも満たない。
- 生徒や保護者とコミュニケーションを取っている学校は全体の75%。教師間のコミュニケーション頻度は全体の50%が減少していると感じてはいるものの、95%は取れていると答えている。
- 臨時休業明けに向けた指導方針・計画は、全体の約65%がこれから検討する予定。
- 臨時休業明けに最も対応が必要な課題として、全体の60%が「学習・授業進度遅れのリカバリー」を挙げた。特に高1・高2でその課題感が強い。また、高3では「進路指導」が、高1では「メンタルフォロー」がそれぞれ他学年よりも割合が高く、各学年が置かれる状況を反映している。

### 【臨時休業明けの対応について】

- 多くの学校が決定or検討中の項目は、「学校行事の削減」「夏季休暇の短縮」「定期テストの見直し」。
- 定期テストの部分的廃止を検討する場合は、家庭学習の評価についても併せて検討する場合が多い。
- 授業時数の確保については、平日の授業時数を増やす学校よりも、土日授業の追加で対応しようとしている学校の方が多い。

## アンケートから見てきた課題と各学年のポイントとなる指導場面

1年生	文理選択	次年度の教科書注文のスケジュールなどから、時期を後ろ倒しするのは難しい。中学時代の得意・不得意などで生徒が安易な選択をしないように、現時点の学力と、希望進路の方向性を確認しながら面談を実施するなど丁寧に進めていく必要がある。
2年生	コース選択	次年度の教科書注文のスケジュールなどから、時期を後ろ倒しするのは難しい。模試の結果などをもとに面談を実施し、希望進路について考えを深めるとともに次回の模試に向けた学習計画を練っていくことが必要である。
3年生	夏の三者面談 (進学)	面談で学校推薦型選抜・総合型選抜の受験意向を確認している学校が多いことを踏まえると、面談時期の大幅な後ろ倒しは難しい。先生方が最新の入試情報を把握しておくだけでなく、生徒自身にもこまめに入試情報を調べさせ、三者面談時に受験意向が確認できるようにしておく必要がある。
	夏の三者面談 (就職)	例年1学期に開催されている企業説明会や職場見学が実施できない可能性が高く、求人数も減少することが予想される。また、県外就職を敬遠し、地元企業のニーズが高まる可能性もある。得られる情報からミスマッチのない志望企業を選定できるように求人票のみかたなどをアドバイスするとともに、選考基準も厳しくなることが予想されるため、念入りに対策していく必要がある。

次スライド以降にご活用いただけたらそうな情報のリンク先をまとめております。今後も学校の課題に寄り添った情報提供をタイムリーにしていまいりますので、お困りのことがございましたらいつでも弊社にご相談くださいませ。

Benesse High School Onlineにログイン後、各資料リンクへアクセスしてください

【Benesse High School Online】<http://www.bhso.ne.jp>

### 【新型コロナウイルス感染症拡大に関連するご案内】

新型コロナウイルス感染症拡大への対応やお役立ち情報についてまとめております。

[BHSOトップ](#) > [新型コロナウイルス感染症拡大に関連するご案内バナー](#)

### 【クラス担任先生の教室/面談】

面談・声かけ事例、面談で使えるテクニックなどを掲載しています。

[BHSOトップ](#) > [担任](#) > [面談](#)

### 【クラス担任先生の教室/資料ダウンロード】

学級通信や実践事例など、クラス担任先生の生徒指導に役立つ情報を掲載しております。

[BHSOトップ](#) > [担任](#) > [資料ダウンロード](#)

### 【進路相談室】

Benesse情報センターに全国の先生から寄せられる進路指導に関するよくあるお問合せと、その解決策についてまとめております。

[BHSOトップ](#) > [進路](#)

### 【大学情報】

大学・学問について、その魅力や志望校選びのポイント、各大学から提供された、イベントや入試情報などの最新情報を大学ごとに掲載しています。また、ベネッセが分析した大学入試に関する情報を大学・学部・募集単位別にまとめた大学入試分析情報を掲載しております。

[BHSOトップ](#)> [大学情報](#)

### 【入試改革/新課程情報】

入試改革や新課程についての情報をまとめております。

[BHSOトップ](#)> [入試改革／新課程](#)

### 【受験レポート】

「教科試験以外の試験を課す入試」の内容について、実際に受験した生徒より提供いただいた情報を掲載しています。（情報提供にご協力いただいた学校のみ閲覧可能です。）

[BHSOトップ](#)>[入試](#)>[受験レポート](#)

### 【2021年度入試情報】

入試科目一覧などを掲載しています。

[BHSOトップ](#)>[入試](#)>[2021年度入試](#)>[入試科目一覧](#)

### 【学校推薦型選抜・総合型選抜情報】

2021年度入試 学校推薦型選抜情報一覧・総合型選抜情報一覧（国公立・私立）などを掲載しています。

[BHSOトップ](#)>[学校推薦・総合選抜](#)